



病院薬剤師の仕事は、入院患者さんの薬の調剤や、注射薬のセット、食事が取れない方に栄養補給するための高カロリー輸液の混合、病棟での服薬指導、薬剤の購入や管理など多岐に渡ります。

院内調剤の時代は、病院薬剤師も薬の受け渡しをしており、外来の患者さんにとって、身近な存在と感じやすいものでした。今は患者さんが病院で院外処方箋をもらって

⑤6 薬剤師の仕事(薬剤科)

好きな薬局を選び、かかりつけにする時代です。

調剤薬局は多くありますが、良い薬局の選び方は、親身になって話を聞いてくれるかどうか。さらに、病態に応じて、錠剤か、粉薬か、水薬か、水なしで飲めるOD錠か、その人に合った薬の形状を考えてくれるかもポイントです。

鼻や口からのチューブや、胃ろうなどの経管栄養では液剤を使ったり、咽喉がんなどで飲み込む



カウンターの奥には、さまざまな薬が並ぶ＝名古屋市中区の中日病院で



中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎ 中日病院＝052(961)2491

多岐 入院患者への調剤

のが難しい方には口の中が太く、飲みやすさなですぐ溶けるOD錠を使ったりできます。ど患者さんの利便性を考えた上で医師に処方提案してください。調剤薬局によっては、(荒川敏洋薬剤科長・談)